

⑤ 運動をさらに進めていくにはどうしたらいいの？

推進のための工夫を寄せてくださったお便りをご紹介します。

☆教会員数に1日10円を乗じた額を、毎月30日分としてお献げしています(例:10人分×10円×30日=3,000円)。

☆「助け合い献金」と称して教会会計から献げています。

☆礼拝後、昼食を用意し、売り上げをお献げしています。

☆専用の封筒を用いて、年に何回かに分けてお献げしています。



追伸 教区事務所からのお願い

☆宣教部では、「ナルドの壺献金」専用の袋を用意しています。お入り用の教会は下記までお気軽にお申し出ください。お送りします。振替用紙もご用意しています。下記教区事務所にお申し出ください。

振込先は、00140-3-67727 「ナルドの壺献金」とご明記ください。

また、毎月17～18日までに教区事務所にお申し出いただけましたら、引き落としもできます。

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく教区事務所にお問い合わせください。よろしく願いいたします。教区事務所の連絡先は下記の通りです。

日本基督教団関東教区

〒330-0844

さいたま市大宮区下町3-3-9

☎ 048-647-0862 📠 048-647-0978

ナルドの壺献金 (推進運動)

Q & A

1日10円献金



ナルドの壺献金はあなたができる献身と連帯の証です

ナルドの壺献金はあなたの献身と連帯の証です

- ① 「ナルドの壺献金」ってなあに？
- ② どうして関東教区でこの運動が起ったの？
- ③ 今、ナルドの壺献金はどう用いられているの？
- ④ わたしたちにできることはなあに？
- ⑤ 運動をさらに進めていくにはどうしたらいいの？
- ⑥ 献金方法について

① 「ナルドの壺献金」ってなあに？



☆ 1日10円を目標に、毎日参加する献金運動です。

関東教区内の信徒・教職が参加し、互助費を生み出すことができます。皆さん一人ひとりが宣教活動に参加していただける、身近な運動です。この運動を推進することによって、献げる喜びと助け合う力が強められていくことを願っています。



② どうして関東教区でこの運動が起こったの？

☆1975年から教会互助が始められ、教区一般会計より50%、教区内諸教会からの自由献金が50%という目標でスタートしましたが、各教会からは38%しか集まりませんでした。とはいえ、教会負担金を上げることはできません。

1984年の秋、教区宣教総合協議会で、教区内の経済的に困難な教会・伝道所のために何かできないだろうか、という事を話し合い、1人の女性信徒の「関東教区の信徒一人ひとりが1日5円ずつ献金する運動を始められたらどうか」との発言がきっかけで、「香油を捧げた女性」（マルコによる福音書14:3～9）にちなみ、献金運動の名称を「ナルドの壺献金」としました。翌春、第36回教区総会で決議され、正式にスタートしたのです。2009年度第59回教区総会で、1日5円から10円への変更が決議され、あらたな金運動の取り組みが始まりました。

③ 今、ナルドの壺献金は何に用いられているの？



☆毎年、「ナルドの壺献金」の目標額は、教区総会において決定されます。2022年度は、目標額の1200万円に対して、11,777,499円が捧げられました。皆さまの篤いお祈りと力強いお支えを感謝いたします。皆さまから献げられた献金は、

- 1、教会財政が厳しく教師謝儀を差し上げるのに困難な教会・伝道所へ「謝儀互助」として用いています。
- 2、病気・入院など教師に緊急事態が発生し、経済的に苦しい事態になった場合の「緊急互助」として用いています。
- 3、財政的困難で、「教団退職年金」に加入できない教師への一部補助の「教団年金互助」として用いています。
- 4、財政的困難で「退職金」を用意できない教会・伝道所へ、「退職金互助」として用いています。



④ わたしたちにできることはなあに？

☆1人が1日10円！1人がひとりへ！

教区内で、まだ「ナルドの壺献金」運動に参加していない教会・信徒・教職の方、ぜひご参加ください。お願いいたします。教会に「ナルド担当者」をお願いいただき窓口になってくださると、教区宣教の業としての献金運動がより活発になるでしょう。献金袋・ポスター・ナルド献金リーフレット「Q&A」などありますので、ご活用ください。「関東教区事務所」(裏表紙参照)までお気軽にお問い合わせください。よろしくお願いたします。